

今年度も早一か月が過ぎました。昨年度は定例の例会を 16 回開催、講演活動等を 15 回行いました。今年度は大きな柱として①高碓達之助に関する研究会の開催、②高槻市制 75 周年にあたり“市制のあゆみ”を取り上げます。もう一度原点に戻り研究会が主体になります。それに引きずられる形のアウトプットとして語り継ぐ活動も行います。問題は人集めです。

人はどんな時に集まるのか？そんな事を考えてみたら、なんだか楽しそうだから、なんだか得をしそうだから、なんか皆が「良い」と言っているから、好きだから、応援したいからなどが考えられます。このようなことを念頭においていかに参加していただけるかを常に考え、情報を発信していくつもりです。



高槻市マスコットキャラクター『はにたん』

■第一回高碓達之助研究会開かれる

4/2 (月) 14:00~16:00 クロスパル高槻第二会議室にて私達 NPO 法人高槻名誉市民を語り継ぐ会が事務局を務める”高碓達之助研究会“(角芳春会長)が開催されました。

2/24 高槻市生涯学習センターでの発足会の大盛況(出席者 350 名以上)を受けての二回目ということで、東洋製罐関係者や高碓翁出身地の熱心な柱本の皆様等各方面から関心の深さや熱意が覗かれる会となりました(出席者 20 名以上)。

特に今回のテーマが高碓翁の生い立ち(故郷柱本・高槻を語る)という事で、淀川右岸のスーパー堤防の建設や、新橋や新道の建設を通じての大阪都心部との距離の短縮化等地元への貢献度を再確認させていただきました。その上で新記念館建設等機運の盛り上がり期待したい旨、

云長からお話がありました。(詳細は裏面に掲載)

次回の 5/7 (月) 例会は同じ高槻クロスパル Pm2:00~4:00 にて〈高碓達之助研究会第二回〉北村正信研究員による”企業家になるまでの変遷”をテーマに発表されます。

なお、“高碓達之助研究会”は毎月第一月曜日とし、高槻名誉市民を語り継ぐ会としては毎月第三月曜日を”高槻市制 75 周年研究会“(中川修一会長)の事務局となり後援を兼ねる事となります。いずれの会も毎回 14:00~16:00 クロスパル高槻、資料代会員 300 円非会員 500 円です。よろしくお願ひします。

■「高槻市制 75 周年のあゆみ」講演

4/16 (月) 高槻名誉市民を語り継ぐ会(馬淵晴彦理事長) 例会において、中川修一研究員を座長とする〈高槻市制 75 周年のあゆみ〉講演の第一回目が高槻クロスパルにて午後 2:00~4:00 まで催されました。

当日は高槻市制発足よりの時代背景や歴代市長の功績の概要について中川氏より発表があり、私達が育ててきた我が町高槻発展の足跡が走馬灯のように甦り、先人の偉大さを改めて思い知らされたところでした。(詳細は裏面に掲載)

なお、5/21 (月) 例会は同じ高槻クロスパル Pm2:00~4:00 〈高槻市制 75 年のあゆみ〉”高槻市の交通”をテーマに発表されます。



【5月研究会の講演者紹介】

5/7 (月) 「高碓翁の企業家になるまで」
講演者：北村正信(高碓達之助研究家)
昭和 29 年大阪市生まれ、
大阪教育大学大学院理科
教育生物専攻
(元)大阪府立茨木高等学校教師

5/21 (月) 「高槻の交通」
講演者：高麗敏行(たかつき交通まちづくり研究会代表)
コンサルタント会社に勤務、
設計部技師長
専門学校デザイン工学非常勤講